

【音楽科の目標】 第1目標 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。 【第2学年及び第3学年】 1 目標 (1)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。 (2)多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。 (3)多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。					共通事項		主な教材		A 表現			B 鑑賞			評価規準				備考	
					「A表現」「B鑑賞」の指導を通して次の事項を指導する。	「A表現」「B鑑賞」の指導を通して次の事項を指導する。	A表現： 表現教材は次に示すもの	B鑑賞： 鑑賞教材は次に示すもの	(1)歌唱	(2)器楽	(3)創作	B鑑賞	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力				
前期	4 5	フーガの特徴を生かして表現しよう	・歌詞の内容や曲想を味わい、表現を工夫する能力を育てる。	テクスチャ ・構成	〈歌唱教材〉「時の旅人」 〈鑑賞教材〉「フーガ短調」「星に願いを」他															
	6	言葉のリズムを生かして作曲しよう	・旋律のしぐみに関心をもち、意欲的に旋律創作をする。 ・様々な音の組み合わせによる旋律を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り、イメージを膨らませながら表現を工夫する。 ・川柳の言葉のリズムを生かして、イメージに合った旋律をつくることができる。	旋律・リズム ・音階	〈創作教材〉中学生川柳3句のうち1句を選択 〈鑑賞教材〉「クラッピングミュージック」「たこたこあがれ」「あぶくたった」															
	7	旋律にふさわしい伴奏を工夫して演奏しよう	・旋律と和音やリズムなどのかかわりを意識し、和音やリズムを工夫して音楽を表現することの楽しさを感じ取り、器楽表現及び鑑賞をする。	リズム・旋律 ・テクスチャ	〈鑑賞教材〉「故郷の人々」「トルコ行進曲」 〈器楽教材〉「主人は冷たい土の中に」															
	8 9	交響曲の響きを味わおう	・交響曲第5番の特徴を理解する。 ・ソナタ形式を理解する。 ・ベートーヴェンについて理解する。	形式	〈鑑賞教材〉交響曲第5番八短調															